

2014年度mecc会員一覧 (五十音順)

株式会社アーバンコミュニケーションズ
愛育養護学校
アクセンチュア株式会社
あすか製薬株式会社
株式会社安藤・間
NECキャピタルソリューション株式会社
NTTコムウェア株式会社
株式会社大林組
笠井設計株式会社
鹿島建設株式会社
カワセ印刷株式会社
コクヨ株式会社
サントリーホールディングス株式会社
株式会社三陽商会
株式会社シュガーアンドスパイス
昭和電工株式会社
世紀東急工業株式会社
セガサミーホールディングス株式会社
太陽企画株式会社
太陽生命保険株式会社
株式会社大地を守る会
株式会社ダイフク
株式会社知識経営研究所
都築電気株式会社
株式会社DTS
株式会社電通
東京ガス株式会社 中央支店
株式会社東京ヒューマニアエンタプライズ「ホテル日航東京」
株式会社東京フォレストパワー
株式会社東京放送ホールディングス
株式会社東芝

中土佐町
西松建設株式会社
一般社団法人 日本自動車連盟(JAF)
日本たばこ産株式会社
日本通運株式会社
日本道路株式会社
株式会社博報堂
株式会社長谷工コーポレーション
飛騨産業株式会社
日比谷総合設備株式会社
ビズデザイン株式会社
株式会社文化放送
株式会社文祥堂
株式会社文星閣
ブルデンシャル生命保険株式会社
株式会社プロネクサス
株式会社ベネッセコーポレーション
本田技研工業株式会社
マイラン製薬株式会社
丸新運輸株式会社
三井倉庫ホールディングス株式会社
三菱自動車工業株式会社
港区
明治学院大学
森永乳業株式会社
森ビル株式会社
ヤマハ株式会社
ユニ・チャーム株式会社
横浜ゴム株式会社
リコージャパン株式会社
Willowbrook International School/やなぎ教育グループ

62社(2015年3月31日現在)



みなと環境にやさしい事業者会議
minato eco-conscious consortium

minato
eco-conscious consortium
report 2014

みなと環境にやさしい事業者会議 2014年度 活動報告書

【発行】 みなと環境にやさしい事業者会議
〒105-0013 東京都港区浜松町1-13-1 エコプラザ内(3F)
TEL 03-6806-9280 FAX 03-6806-9282 Mail info@mecc-minato.net

【発行日】 2015年5月27日

【製作】 みなと環境にやさしい事業者会議 事務局



この印刷物は、環境に配慮したグリーンプリント認定工場でつくりました。森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立つ「森の町内会・間伐に寄与する紙」、VOC発生量を低減できる「植物油インキ」、イソプロピルアルコール(VOCの一種)等を含む有害廃液を出さない「水なし印刷」を使用しています。また、CTP(Computer to Plate)方式の採用により製版用現象液やフィルムを全廃しています。



ごあいさつ



港区長
武井 雅昭

「みなと環境にやさしい事業者会議」は今年で10年目を迎えられました。この間、「打ち水大作戦」や「企業と環境展」、「スポーツGOMI拾い大会」などの地域住民向けの事業にも積極的に取り組んでいただき、事業者・区民・区が連携した新しい協働の場の確立に向け、その活動を大きく広げていただいております。これまでの活動に対して深く感謝申し上げます。

全国的に人口減少が進みつつある中、港区の人口推計では、今後も人口は、増加すると予測しています。また、国家戦略特区の指定などにより事業所の増加も見込まれ、二酸化炭素排出量やごみの排出量の増加等の環境負荷の増大が懸念されています。

そのため、区は、目指すべき環境像を「歴史ある自然をみなでぐくみ、暮らし、働くことを誇りに思える国際環境都市「みなと」」と定め、「安心して暮らせる低炭素・省エネルギー社会の実現」など6つの基本方針に沿って施策を推進する「港区環境基本計画(平成27年度～平成32年度)」を策定しました。

区は、「みなとモデル二酸化炭素固定認証制度」や「みなとタバコルール」などの様々な施策を推進し、区民・事業者の皆様と連携を深め、環境にやさしい、活力ある安全で安心できる港区の実現に向けて全力を尽くして参ります。皆様のなお一層のご理解、ご協力をお願いいたします。

今後も、地域を核とした会員事業者の皆様における環境問題の解決に向けた積極的な取組を通じ、「みなと環境にやさしい事業者会議」が益々発展されることを祈念いたします。



みなと環境にやさしい事業者会議
会長・港区副区長

小柳津 明

今年で10年目を迎えた「みなと環境にやさしい事業者会議」は、会員数が、当初の29事業者から、平成26年度末で62事業者にまで広がりました。この間、会員事業者の皆様には、事業者会議の運営に多大なるご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成26年度のmeccの活動を振り返ると、会員事業者間での環境情報の共有の場となる「セミナー」「エコツアーや、夏季の納涼イベント「打ち水大作戦」、年間での一大イベント「企業と環境展」など、様々な取組を実施しました。

なかでも、「企業と環境展」では、将来を担う高校生を対象とした「高校生環境コピーコンテスト」において、グランプリ受賞作品をラジオCMとして完成させるため、コンテスト当日以降も企業と高校生が活発な議論を行うなど、充実した内容となりました。

また、新たな取組として、新橋SL広場を拠点として新橋駅周辺で「スポーツGOMI拾い大会」を開催しました。ボランティアとスポーツの要素を組み合わせた、子どもから高齢者まで楽しめる魅力的な企画となり、大会当日は、会員事業者チームや中学生チームなど大勢の参加者で盛り上がりました。

平成27年度も、「みなと環境にやさしい事業者会議」は、環境先進都市港区の実現に向け、様々な取組を展開していくたいと考えておりますので、会員事業者の皆様には、より一層のご協力をお願いいたします。

設立趣旨書

21世紀に入り、異常気象の多発、北極や南極の海水の溶解、砂漠化の進行など地球温暖化の影響はますます深刻さを増しています。豊かな自然環境を守り、かけがえのない地球を次世代に引き継いでいくのは、私たちみんなの責務です。

便利さや快適さを求める大量生産、大量消費、大量廃棄という社会生活の基本スタイルを、市民、企業、行政を始めとしたあらゆる個人、組織が、それぞれの立場で真剣に考え、環境にやさしいライフスタイルへと転換していく必要があります。港区は、東京の中でも企業や各種団体の本部機能が集中しています。

この特長を生かして事業者と区民と区が連携し新しい協働の場を確立できれば、これまでにない環境保全活動の取り組みとして「みなとモデル」を全国に発信することができるでしょう。ひとつの地域での取り組みが、世界を変えていくほどのうねりになる。「みなと」という地域に集うわたしたちのネットワークは、そんな大いなる可能性を秘めていることでしょう。そうした新しい連携を可能にする土台として「みなと環境

にやさしい事業者会議」を設立します。業種も立場も異なるさまざまな事業者たちが同じ目線で会える場に、環境に対する、互いの意識を高めあえる場に、そしてアイディアが次々とカタチになっていく活気のある場になりたいと思います。「みなと」にかかるすべてのパートナーシップの要として、生きた情報と知恵の受発信が行なわれる前線基地として、そして個々の事業者にとっては地域と地球環境への貢献を同時に推進できるひとつの拠り所として「みなと環境にやさしい事業者会議」が立ち上がりました。今年で10年目を迎えます。この趣旨にご賛同いただけるひとりでも多くの事業者の方に仲間に加わっていただければ幸いです。わたしたちが手をたずさえることで生まれる力が、地球環境問題を根本的な解決にむかわせる希望となることを期待して。



みなと環境にやさしい事業者会議

2014年度報告書目次

02	活動カレンダー／港区活動マップ
03	総会
04	企業と環境展
10	□ 実施概要説明・プログラム・基調講演・事例紹介
12	□ ワークショップ
13	□ 高校生環境コピーコンテスト
14	□ 大学生環境ビジネスアイディアコンテスト
16	打ち水大作戦
17	スポーツGOMI拾い大会
	meccに参加するには??



2014年度 活動カレンダー&マップ

2014年	5月	24日 ①エコライフMINATO2014 朝市エコバザー
		28日 ②総会
	7月	5日 ③みなとクリーンアップ大作戦2014 エコバザー共催
		25日 ④白金高輪打ち水大作戦
	8月	1日 ⑤日比谷通り打ち水大作戦
		7日 ⑥ハマサイト打ち水大作戦、エコバザー併催
		22日 ⑦お台場打ち水大作戦
		26日 ⑧meccセミナー第1回開催
	10月	9日 ⑨meccエコツアーフィールド調査
		11日 ⑩高校生環境コピーコンテスト講座
		23日 ⑪meccセミナー第2回開催
	11月	7~9日 ⑫企業と環境展
		8日 ⑬高校生環境コピーコンテスト発表ステージ
		9日 ⑭大学生環境ビジネスアイディアコンテスト
2015年	1月	29日 ⑮meccセミナー第3回開催
	2月	5日 ⑯meccエコツアーフィールド調査
	3月	21日 ⑰スポーツGOMI拾い in 新橋
		24日 ⑱meccセミナー第4回開催

The map shows the outline of Minato-ku, Tokyo, with several regions labeled: 赤坂地区 (Akasaka), 麻布地区 (Mitsubashi), 芝地区 (Shiba), 高輪地区 (Kōrōn), and 芝浦港南地区 (Shibaura Kōnan). Numbered circles (1 through 18) indicate the locations of various activities across these areas.

総会

minato eco-conscious consortium report 2014

mecc会長、mecc会員事業者、港区長が一同に会し
今年度の活動プランを話し合う
総会を開催しました。



9年目のmeccがスタート

5月28日、慶應義塾大学 芝立キャンパスにて、平成26年度総会を開催しました。総会では、武井港区長をお迎えし、お祝いのご挨拶を頂き、mecc会長をつとめる小柳津副区長から今年のmeccの目標についてご説明がありました。続いて会計収支と活動報告について事務局から説明が行われ、今年の事業計画等はすべて満場一致で可決されました。2年に1度の任期を迎える幹事事業者については、新規3事業者を含む7事業者が承認され、各者からの挨拶に拍手が送られました。総会終了後に行われた講演では、多摩美術大学 造形表現学部 デザイン学科 教授 堀内 正弘氏に「企業と地域を結ぶグランドデザイン」をテーマに講演頂き、参加事業者にとって、大変興味深い内容となりました。プログラム終了後の懇親会は、港区役所で東京タワーのライトアップビューを楽しみながら、小柳津会長をはじめ会員の交流の場として会員事業者のつながりを深めました。



企業と環境展

minato eco-conscious consortium report 2014

mecc最大のイベント「企業と環境展」
「環境を楽しめ!エコアクション!」をサブテーマに
小学生や高校生、大学生のプログラムを展開しました。

11月7日、8日、9日に六本木ヒルズにあるヒルズカフェにて企業と環境展2014を開催しました。mecc活動でも大きなイベントの一つで、会員事業者の発表や、親子向けワークショップなど、様々なプログラムを展開しました。

今年は、「環境を楽しめ!エコアクション!」をサブテーマとし小学生、高校生、大学生、会員事業者に対して、meccを通じて出来るエコアクションを3日間のプログラムに組み込みました。

7日は、さまざまな観点から環境活動に取り組む団体に参加いただき、パネルディスカッション、会員事業者2社の環境に対する取り組み、タレント・いとうまい子氏をお招きし環境出前授業を開催しました。

8日、9日は、小学生、高校生、大学生向けの各種プログラムを行いました。

毎年好評の親子向けワークショップでは、会員事業者4社に提供頂きました。港区にある小学校を対象にチラシの配布を行った結果、大変人気があり、全てのワークショップで定員上回る申込を頂き、参加者に企業の環境活動を親子で勉強する貴重な場になりました。

そのほか、高校生コピー講座&コンテストや、大学生ビジネスアイディアコンテストなど、若い世代に向けたコンテンツも展開しました。



企業と環境展 2014 プログラム
■ 場所: 六本木ヒルズ2階「ヒルズカフェ／スペース」
■ 特別協賛: 森ビル
2014年11月7日(金)
■ 基調講演: 「エコ エンターテインメント」遊んでエコ! パネルディスカッション 一般社団法人 日本スポーツGOMI拾い連盟 代表 馬見塚 健一氏 日本ナルシスト協会会長 竹内 琢俊氏 Japanese Tip 辰巳 雄基氏
■ 環境事業連携事例: カワセ印刷株式会社 川瀬 健二氏 太陽生命株式会社 秋山 清重氏
■ 開催祝辞: みなと環境にやさしい事業者会議 会長 小柳津 明氏 ■ 講演: 「環境出前授業」環境ナビゲーター 井手迫 義和氏 GUEST タレント・いとうまい子氏
2014年11月8日(土)
■ 子ども環境ワークショップ 「♪鳥くんとバードウォッチング体験」(提供: 森ビル株式会社) 「♪森ってすごいんだ! ~間伐材を使ったオルゴールづくり」 (提供: 株式会社東京フォレストパワー)
■ 高校生コピー講座&コピーコンテスト(協賛: 日本自動車連盟JAF、森永乳業株式会社)
2014年11月9日(日)
■ 子ども環境ワークショップ 「くらしとガス」セミナーと「ガス管を使った万華鏡づくり」 (提供: 東京ガス株式会社) 「東大学生とギネスに挑戦! サイエンスショーと環境ワークショップ」 (提供: 株式会社ベネッセコーポレーション)
■ 学生環境ビジネスアイディアコンテスト (協賛: 森ビル株式会社、株式会社ベネッセコーポレーション)

基調講演

「エコ エンターテインメント」遊んでエコ! パネルディスカッション



最初のプログラムは、環境省主催のエコジャパンカップ カルチャー部門で入選された3団体に登場頂き、パネルディスカッションを行いました。まず、スポーツGOMI拾いの紹介を頂きました。既に、全国250カ所で開催されて30,000名以上参加しています。老若男女が参加でき、同じルールのもと参加できることから、地域の活性化につながったり、企業と地域を結びつけていることをお話し頂きました。次は、ピリカを使ったアート活動の紹介を頂きました。ピリカは、スマートフォンのアプリで、ゴミを拾い、写真を撮って投稿すると、モザイクアートの1つになる内容です。SNS機能もあり、コメントなども可能です。2012年5月3日には、世界中で活動を行い、135,000人が参加しました。環境活動を続けていくために、続けられる視点で遊びながら全力で行うことの大切さを学びました。最後に、箸袋を使ったコミュニケーション活動の紹介を頂きました。日本は、食料自給率は低く、一番食べ物を捨てている国だそうです。そんな時に出会った箸袋アートで「ありがとう」を表現することがお客様と店員さんのコミュニケーションが出来ると感謝の気持ちが生まれ、食べ残しが減る考え方です。欧米のチップと同じように、日本の箸袋で感謝の気持ちを伝えられるように活動されていました。

環境事業連携事例

「eco探ノート」について

カワセ印刷株式会社 代表取締役社長 川瀬 健二氏



環境CSR活動と紙の関係について考え、印刷会社が出来る事例でした。紙の良さは、その場で記録できる、振り返りができる、楽しく知識になる事です。既製品ではなく、eco探ノートは各企業で組み替えができる、大事に使ってもらうツールとして、環境をアピールすることが出来る事を紹介頂きました。

「森の活動」について

太陽生命株式会社 総務部総務課 秋山 清重氏



会社全体で取り組まれている森林活動について紹介頂きました。東西2カ所で展開され、最初は真っ暗だった森が、間伐を行うところから始め、立派な森になりました。現在では、参加者のリピーターが非常に多くなり、新入社員とのコミュニケーションの場として、森林活動を利用しているそうです。

環境出前授業



初日最後のプログラムは、積極的に環境に取り組んでいるタレント・いとうまい子氏をお招きして、環境ナビゲーターの井手迫氏とともに講演を頂きました。いつも小学校などで行っている環境授業を企業様向けに構成して頂き、環境をわかりやすく説明頂きました。中には歌や体を動かす内容もあり、楽しく学習することの大切さを感じました。また、いとうまい子氏も参加者と一緒にになって講演を盛り上げて頂き、参加者は笑顔に溢っていました。

企業と環境展 ワークショップ

minato eco-conscious consortium report 2014

企業の取り組みを区民や子どもたちに知って頂く貴重な時間。
環境について勉強したり、親子の会話が弾むワークショップです。

♪鳥くんと バードウォッチング体験

提供:森ビル株式会社



森ビルの環境に対する取り組みを聞いたあとに、毛利庭園でバードウォッチングを行いました。朝の涼しい時間帯の庭園はとても気持ち良く、都会の真ん中だとは思えないほどです。1周するあいだにさまざまな鳥を見ることができ、子どもたちは声をあげて喜んでいました。♪鳥くんの話を聞きながらの座学では、スズメ・シジュウカラの下絵に色を塗りましたが、子どもも大人も普段よく見慣れているつもりでも、再現は難しく、じっくり観察することの大切さを実感したのではないでしょうか。

協賛企業の声

鳥の専門家と一緒に、六本木ヒルズ内の毛利庭園でバードウォッチングを体験。スズメとヒヨドリを観察して、都心でできる自然とのふれあいを楽しんでいただきました。【森ビル 名取氏】



森ってすごいんだ! ~間伐材を使ったオルゴールづくり~

提供:株式会社東京フォレストパワー



まず、世界や日本の森林について勉強しました。学校で教えてもらうよりも、深い内容で、世界の森林減少や、日本での間伐材の利用方法、人工林の使用方法など森の大切さをクイズを交えて、楽しく学ぶ事が出来ました。また、オルゴール製作では、子どもと保護者が協力して作る作業があり、親子のコミュニケーションも同時に取れ、真剣な表情をする親子もいました。ペンなどで彩られたキレイなオルゴールが沢山でき、会場には、心地よい音色が鳴り響きました。

協賛企業の声

みんなが楽しそうに間伐材のオルゴールを作っている姿を見ることができて感激しました。どこかで森や木の大切さを思い出してもらえるうれしいです。ありがとうございました。【東京フォレストパワー 高津氏】



「くらしとガス」セミナー& ガス管を使った万華鏡づくり

提供:東京ガス株式会社



万華鏡づくりの前にガスについて勉強しました。身近なエネルギーのガスに興味を持った子供たちは、自宅へ届く道のりや、ガスに匂いをつけている事などを勉強しました。普段都市ガスを使用している保護者の方もうなづいて聞いていました。万華鏡づくりは、実際に地中に埋まっているガス管を使用しました。金属のイメージのガス管ですが、実際は樹脂でできており、色も黄色でした。完成すると回してみたり、隣と交換したり色々な模様をみんなで楽しんでいました。

協賛企業の声

児童たちは、自分で作った万華鏡を覗き込み歓声をあげていました。モノづくりの楽しさ、モノを大事にすることの大切さを感じていただけたら幸いです。【東京ガス 渡部氏】



東大生とギネスに挑戦? サイエンスショーと環境ワークショップ

提供:株式会社ベネッセコーポレーション



ワークショップ初となる、2部構成で開催させて頂きました。東大生監修のもと、第1部では、工作。第2部では、体验を中心の構成でした。工作では、紙飛行機の空気の抵抗を考えて、翼の形などに注意して、良く飛ぶ紙飛行機を作り、飛ばしました。第2部の体验では、空気砲と静電気による実験を屋外で行い、体を動かしながら参加するワークショップに子どもたちの歓声が溢れていました。

協賛企業の声

募集人員25名設定のところ100名を超えるご応募をいただきました。参加者にはとても楽しく空気について考え実感していただけたようでした。【ベネッセコーポレーション 荒木氏】



企業と環境展 高校生環境コピーコンテスト

minato eco-conscious consortium report 2014

コピーを通して、高校生が
企業の環境活動を表現しました。



高校生による環境コピーコンテストを行いました。

このプログラムは、若い世代に企業の環境活動や、環境問題に関心を持ってもらいたいとの思いがあり、開催しました。事前に行われたコピー講座では、「伝え方が9割」の著書で有名なコピーライター佐々木圭一氏を講師に迎え、講演を聞いて行く中で企業の環境活動をアピールしていく方法を学びました。講演中にメモを取る姿や、質問に積極的に発言するなど、参加意識の高さには、驚かされます。また、今回は、ラジオCMの作成に挑む高校生たち。企業と環境展までにプラッシュアップを重ねました。

協賛企業からのテーマ
一般社団法人 日本自動車連盟 JAF エコドライブの広め方についての内容
森永乳業株式会社 マウントレーニングアダプルを通じて、 もっと多くの人が環境のことを考えるきっかけとなるような内容 ～一杯のコーヒーで環境保全や社会貢献を～

11月8日 六本木ヒルズ ヒルズカフェにて、高校生4名がプレゼンテーションを行いました。1人1人が渾身のラジオCMをプレゼンテーションしていきます。今回はラジオCMなので、本人たちがイメージしている音楽や効果音なども合わせてプレゼンテーションを行うことで、頭にイメージを膨らませることができました。審査員も一緒に作成してきたことで、丁寧に講評を行う姿があり、チームのような一体感が会場にありました。最優秀賞は、ラジオCMになり、JAF提供の番組、文化放送の環境番組に実際にラジオ放送していただきました。



協賛企業の声

まだ運転免許を持たない高校生に対して、「エコドライブ」を議題としていいのか?と思いつながら参加しましたが、ワクワクで次々とアイデアが飛び出す様子を見て、安心すると同時に感心しました。ご協力のもと完成したラジオCMはクオリティが高く、実際に素材として放送させていただきました。高校生世代の感性に接することができ、今後の事業展開の参考となるよい機会となりました。感謝申し上げます。【JAF 根木氏】



協賛企業の声

加工食品の原産地と自分たちの関わりについて考える機会を提供できましたが、私たちの収穫でした。企業賞を受賞した作品は、熱帯雨林を守ることで新しい美容サブリの原料が発見できる、と熱帯雨林とOLの距離をぐっと縮めたアイデアが秀逸でした。【森永乳業 長井氏】

企業と環境展 大学生環境ビジネスアイディア

minato eco-conscious consortium report 2014

環境をテーマに大学生が
ビジネスを考えました。

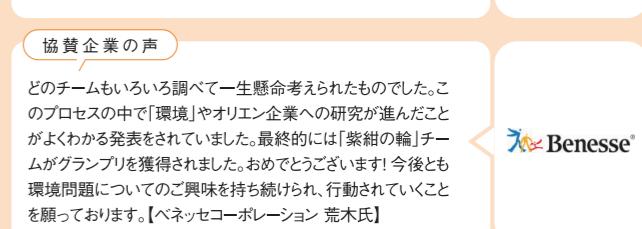
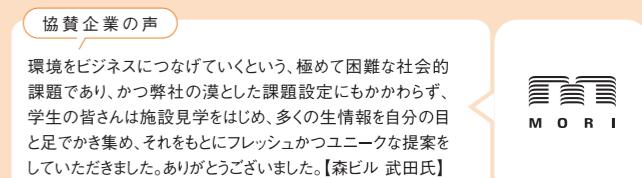


大学生による環境ビジネスアイディアコンテストを行いました。

大学生による環境ビジネスアイディアコンテストを行いました。今年も昨年と同様、全国学生環境ビジネスコンテストを開催している学生団体【em factory】にご協力頂き開催となりました。一般から参加者を募集したところ、参加大学生12名(4チーム)のエントリーがあり、10月にエコプラザにてキックオフミーティングを行いました。今年は会員事業者2社から環境をテーマにビジネスアイディアのお題提供を頂きました。

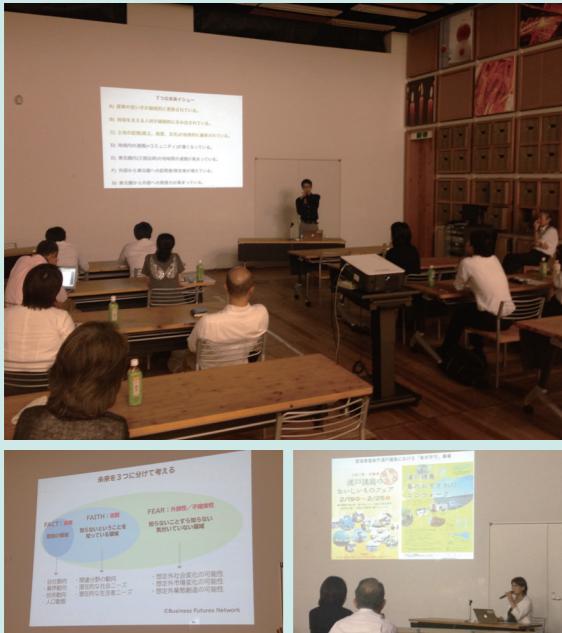
協賛企業からのテーマ
森ビル株式会社 森ビル(株)が運営する施設を活用した新たな環境ビジネスを提案してください。
株式会社ベネッセコーポレーション ベネッセに期待される環境教育のビジネスプラン

お題に取り組む大学生は、1度プラッシュアップの日程を設け、昨年以上のアイディアを構築していきました。企業と環境展最終日の11月9日、発表ステージを迎えました。コンテスト参加者12名、em factoryスタッフ、観覧者21名、お題提出企業3名、審査員2名、mecc事務局3名、計41名で開催しました。大学生4チームがそれぞれ各チームごとに特長があるプレゼンテーションでビジネスアイディアを発表し、プレゼン終了後に、審査員からの質疑がありました。中には、学生から質問も出でて、真剣な様子が伝わってきました。4チームの中で優勝したのはベネッセコーポレーションからのお題に取り組んだ「紫紺の輪」の3名のチームで、学校で放送されている校内放送に着目しビジネスアイディアを考えました。他のチームのアイディアも想像力ある内容でした。



企業のCSR活動をさらに発展させるために、
港区立エコプラザにて
セミナーを4回開催しました。

2025年東北における環境保全と 地域経済が両立する新事業アイディア



新年度第一弾となるmeccセミナーには、博報堂が推進している「東北グリーン復興」事業者パートナーシップや、東北の復興のために行った、未来洞察手法のなど、ご紹介を頂きました。未来洞察手法で行ったワークショップでは、社会を動かせる内容に選定して14の事業アイディアが生まれたそうです。復興と言っても、様々な状態があり復興のアイディアを考えいくうえで、ビジョンの共有やどういう未来を作っていくかが大切とのことでした。2014年度は、活動をするために積極的にワークショップを行い、都市生活者に対して「食べる」「歩く」「学ぶ」「守る」の4つのキーアクションを提案し、「食歩学守」を事業として実現し、体感できる場や交流機会を創出します。この4つのキーアクションをもとに東北グリーン復興プロジェクトを推進していくとのことでした。

■日時:2014年8月26日(火) 18時00分~20時00分
■講師:石野 幹生氏/(株)博報堂 イノベーションラボ メンバー

参加者の声

インフラの破壊により雇用や生活・将来の夢が奪われた方に、単に現在の延長線上の未来ではなく、実現可能性のある夢を示し活力を取り戻していくことは、被災された方の心を支えるという点で重要なことだと思いました。【NTTコムウェア 竹下氏】



エコジャパンカップ ビジネス講演会



第2回目は、環境省主催エコジャパンカップで優秀な成績を残された企業をお招きして講演を頂きました。日本環境ビジネス設計は、「全てのゴミは、資源になる」をモットーに活動されていて地上の有機物に注目し、物のリサイクルではなく、炭素のリサイクルをされていました。2015年は、いらないゴミをエネルギーに変えることを実現するために、さまざまな企業や消費者を巻き込んだ活動を目指していました。マイファームは、耕作放棄地をまとめ、一般の方に解放し農業を楽しんで体験して頂く事業を行っています。全国に80カ所あり、毎週末さまざまな方が農業を楽しんでいるそうです。事業領域も広く、農業専門学校を設立し、耕作放棄地を卒業生に貸出し、出来た野菜は販路を確保して、「農業は苦しくない」とアピールしていました。

■日時:2014年10月23日(木) 18時00分~19時30分
■講師:岩元 美智彦氏/日本環境ビジネス設計(株)
西辻 一真氏/マイファーム(株)

参加者の声

日本環境ビジネス設計は、上手に循環させれば、ゴミから資源をまかなえる、ということ。マイファームは、耕作放棄地について収益を上げ、再生するといった内容が印象的でした。【アーバン・コミュニケーションズ 小菅氏】



環境ビジネス連携事例 紹介講演会



第3回目は、環境とビジネスを結びつけるプレゼンツリーについて講演頂きました。プレゼンツリーは、【人生の記念日に樹を植えよう】を合い言葉に、国内外の森づくりが必要とされる土地に、記念樹を植えることで、森林再生と地域振興に繋げていくプロジェクトです。①森林所有者②行政(市、町など)③地元の森林管理施業者(森林組合等)④環境リレーションズ研究所の4者で協定を結び、10年間の森林保育管理体制を担保し、ビジネスとして確立出来るようになっています。すでに、国内外24カ所、約10万3千本の樹を約306万人で支援している実績もあります。環境対策(CSR)が一巡し、マンネリ化に悩むタイミングに「新規性」や「プロモーション」などとして、「訴求・集客しやすい」テーマや品質での差別化が難しくなったため、「環境」や「CSR」をその代替として導入する企業が多いようです。プレゼンツリーを導入している新生紙パルプ商事から取り組みの報告を頂きました。

■日時:2015年1月29日(木) 16時00分~17時30分
■講師:鈴木 敦子氏/(株)環境ビジネスエージェンシー

参加者の声

個人では簡単にできない「植樹」を「プレゼント」としてしくみ化。贈る人も贈られた人も、森づくりを担うことできます。森林資源保護の新しい発想、手法を感じました。【プロネクサス 奈須野氏】



生物多様性保全の 具体的な取り組み事例



第4回目は、会員事業者からの要望があった生物多様性にスポットを当て、森、海をメインに活動しているNPO団体と企業が連携できる事例紹介を頂きました。樹木・環境ネットワークは、人材を確保・育成し、全国14カ所で行っているフィールド活動を通して、人と森を結び付ける活動を行います。里山作りを行った際のNPO側の課題と企業の課題をご説明頂きました。また、それぞれの課題をクリアすることができた事例をわかりやすく紹介頂きました。海塾は港区の水辺を中心に活動していて、企業、行政、区民を結び付けています。海をキレイにするために、私たちにできることを中心に、活動事例を紹介頂きました。水辺フェスタや運河めぐりなどの事例は、参加していた会員事業者からの関心も高く、将来meccツアーでの開催も検討したいという声もあがりました。

■日時:2015年3月24日(火) 16時00分~17時30分
■講師:後藤 洋一氏/NPO法人 樹木・環境ネットワーク
大川 拓哉氏/NPO法人 海塾

参加者の声

生物多様性の取組みに悩む事業者も多いと思うが、「樹木・環境ネットワーク」さんからは企業の事例を数多く紹介いただけた。「海塾」さんの説明は、身近なようで意外と知らない港区の水辺と生きものがわかつて楽しかった。【鹿島建設 秋葉氏】



mecc ツアー

minato eco-conscious consortium report 2014

人気のmeccツアー。
会員事業者で話しながら生物多様性を学んだり
施設見学などを行います。



東京放送ホールディングス 「みつばちあ」見学会



第1回目は、東京放送ホールディングスが活動している「赤坂みつばちあ」の見学会を行いました。まず、座学で生物多様性や蜂の種類、生態、一生の役割やハニカム構造について説明を受けました。なかでも、みつばちの新人、中堅、ベテランでそれぞれの役割があることは参加者も初めて知った内容でした。その後、いよいよ蜜箱のあるテラスへ。初めての事ばかりで真剣に注意事項を聞く姿が非常に印象的で、最初は恐怖がありましたが時間が経つにつれ、恐怖よりも、興味がまさって行きました。幼虫から誕生の珍しい瞬間は、歓声が上がったり、夢中で写真を撮っていました。蜂蜜のティスティングでは、実際にTBS放送センターの屋上で採蜜された蜂蜜を味見をして採蜜の時期によって違う味を確認しました。4月は、さくらの蜜も味も体験出来るようです。質疑応答では、参加者からの質問で時間をオーバーするほど濃厚なツアーとなりました。

- 日時:2014年10月9日(木) 9時30分~10時30分
- 訪問先:TBS放送センター
- 主催:みと環境にやさしい事業者会議
- 参加者:計19名(事務局含む)

参加者の声

赤坂の中心にみつばちがいる事にビックリしました。普段出来ない体験と生物多様性について勉強させて頂き今後のCSR活動へつながると感じました。【マイラン製薬 石原氏】



「みとパーク芝浦」 見学会



第2回目は、港区最大規模の複合施設「みとパーク芝浦」と田町スマエネパークのスマートエネルギーセンターの2カ所をまわるツアーでした。田町スマエネパークは、地球のため街にできること。をテーマに①つくる②つなげる③みえるをキーワードに「低炭素で災害に強いまちづくり」に取り組みながら、SENEMS(セネムス)を利用して安定供給、省エネ、エネルギー効率化を向上させていました。みとパーク芝浦見学では、各施設を順番にご案内頂きました。アトリウムは、天窓から自然光を取り入れ、柱は、気流を発生させ空調に頼ることなく、温度を一定に保てる特別なものでした。色々な間伐材が至るところに使用されており、木のぬくもりが感じられます。また、震災の教訓を活かし、備蓄物を1カ所に保管する事なくいろいろな場所に保管することを行っていました。参加者からも多く質問があり、最先端の施設に興味を持たれていました。

- 日時:2015年2月5日(木) 15時00分~17時00分
- 訪問先:みとパーク芝浦
- 参加人数:23名(事務局含む)

参加者の声

「低炭素で災害に強いまちづくり」が身近で心強いものに感じました。「みとパーク芝浦」は最先端技術が導入されているながら、温もりある開放的なデザインが印象的でした。【リコージャパン 伊藤氏】



mecc ボランティア

minato eco-conscious consortium report 2015

会員事業者から提供頂いた野菜や物品を
エコバザーで再利用したり、
クリーンアップ活動を毎年行っています。



エコライフ・フェア MINATO2014朝市エコバザー



- 日時:2014年5月24日(土) 10時00分~15時00分
- 場所:有栖川宮記念公園
- 売上合計金額:52,200円+エコバザー券22枚(100円券)
- ご提供事業者(順不同):
らでいつしゅばーや、森ビル、東京ガス、森永乳業、コクヨ、博報堂、港区

クリーンアップ大作戦 エコプラザ会場エコバザー



- 日時:2014年7月5日(土) 11時00分~14時30分
- 場所:エコプラザ ■エコバザー売上:800円

打ち水大作戦 ハマサイト会場エコバザー



- 日時:2014年8月7日(木) 11時00分~14時30分
- 場所:ハマサイト ■エコバザー売上:1,800円

みとクリーンアップ 大作戦2014



毎年恒例のクリーンアップ大作戦。今年多くのmecc会員事業者に参加頂きました。天候にも恵まれ、エコプラザの1階で出発式を行い、総勢約300名が10チームに分かれに一斉に大掃除を開始しました。子ども連れで参加している家族もいて、楽しそうにゴミを集めています。約1時間のゴミ拾いで、大量のゴミを回収することができました。終了後は、参加賞をもらつてみなさん喜んでいました。

- 日時:2014年7月5日(土) 9時30分
- 場所:港区浜松町付近の道路
- 参加者:太陽生命保険およびグループ会社
昭和電工、大林組、日比谷総合設備、西松建設
- 主催:太陽生命保険、みと環境にやさしい事業者会議(mecc)

打ち水大作戦

minato eco-conscious consortium report 2014

設立当初より続く、夏の看板イベントです。
会員事業者が中心になり、区民のみなさんと一緒に
打ち水を楽しみながら環境意識を高めます。



白金高輪 打ち水大作戦



今年最初の打ち水は、昨年雨のため中止になった、白金高輪の打ち水です。炎天下の中、集まってくれたのは、かわいい帽子を被った白金保育園と伊皿子坂保育園の園児たちを含む、45名。司会のフジタ帝国さんと、打ち水の勉強をした後に、さっそく打ち水をスタート。カウントダウンとともに、子どもたちが一斉に水をまき始めます。バケツやペットボトルなど方法は違いますが、バシャバシャと地面を濡らして行きます。地表の温度が下がり始めだんだん涼しい風が子どもたちを包みます。再生水が無くなるまでしっかりと打ち水をしました。参加した園児からは、「もっとしたい」との声も。最後にあきる野市の森林の間伐材で作ったmecc特製のうちわを受け取り、みんなで、パタパタ扇ぎます。子どもたちが地球の温暖化を楽しく学べた打ち水となりました。

- 日時:2014年7月25日(金) 14時00分 / 打ち水開始14時20分終了
- 場所:白金エルシティ
- 主催:みなと環境にやさしい事業者会議、横浜ゴム
- 後援:港区 ■ 参加者数:合計45名

参加者の声

非常に暑い日でしたが、2つの保育園から元気な子供達が参加してくれました。打ち水をする楽しそうな姿に、来年以降も続くイベントにして欲しいと思います。【横浜ゴム・川合氏】

YOKOHAMA

日比谷通り 打ち水大作戦



天候に恵まれ、三菱自動車工業前から長谷工コーポレーション本社前の歩道で打ち水大作戦が行なわれました。今年は三菱自動車工業、長谷工コーポレーション、森永乳業と明治学院大学の学生達で日比谷通りいっぱいに列をつくり、一斉に打ち水を行ないました。一斉に歩道へ打ち水をする姿が圧巻で、一気に涼しい風が吹き抜けます。その後、芝保育園の園児も参加して、打ち水を楽しんでいました。三菱自動車工業が持参いただいた期限切れの「防災備蓄品」のお水も活用しました。打ち水は水道水は使わない事を前提に開催しています。環境にやさしく、色々な使い道がある事を感じることができました。

- 日時:2014年8月1日(木) 14時00分 / 打ち水開始14時15分終了
- 場所:日比谷通り三菱自動車工業本社前～三田駅A9番出口までの歩道
- 主催:みなと環境にやさしい事業者会議、三菱自動車工業、長谷工コーポレーション、森永乳業、明治学院大学
- 後援:港区 ■ 参加者数:合計 169名

参加者の声

猛暑の中、60名程のグループ社員が参加させて頂き、一時の涼を楽しむことができました。打ち水を通してCSR活動への社員の理解が深まったと感じます。【長谷工コーポレーション 津金氏】

HASEKO
株式会社 長谷工 コーポレーション

ハマサイト 打ち水大作戦



ギラギラ太陽が照りつける炎天下の中、浜松町駅前のハマサイト広場にて打ち水大作戦が開催されました。広場全体にのぼりや木桶、ポスターを配置して、打ち水の雰囲気で準備は万全です。12時頃から、昼食に出てくる人も多くなり、「なぜか始まるのか?」と興味津々でした。今年も文化放送のラジオ中継も入り、レポーターとして、オジンオズボーンさんが登場。楽しい打ち水中継を行ってもらいました。その後、打ち水音頭を考案された清水氏とフジタ帝国氏の司会で、打ち水音頭が鳴り響く中、一斉に打ち水スタート。明治学院大学の学生達の浴衣姿やJAF隊員など今年はさまざまな参加者で彩られました。暑さを和らげるよう、地面は水で濡れて行きます。終了後にアイス、間伐材のうちわ受け取った参加者からは、笑顔が見られました。

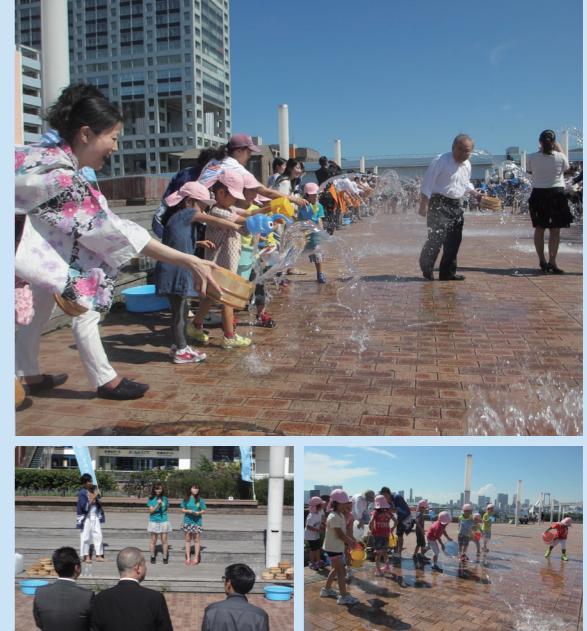
- 日時:2014年8月7日(木) 13時50分 / 打ち水開始14時15分終了
- 場所:エコバザー併催 11時00分開始～12時30分終了
- 場所:ハマサイト広場
- 主催:みなと環境にやさしい事業者会議、太陽生命保険、文化放送、プロネクサス、明治学院大学、大林組、JAF、ダイワク
- 後援:港区 ■ 参加者数:合計145名

参加者の声

大変多くの方にご参加、ご協力を頂き、誠に有難うございました。打ち水は地球規模で考えれば、ちっぽけなことかもしれません。しかし、多くの方が意識を持つことで、小さな一步が大きな一步に変わっていく信じています。【文化放送 橋本氏】

文化放送
AM 1154

お台場 打ち水大作戦



最後の打ち水の会場は、お台場ペデストリアンデッキ自由の女神前広場前です。今年の打ち水大作戦は全て、天気にも恵まれ、お台場会場もジリジリと日差しがさします。海風が吹くなか、続々と参加者たちが集まっています。学園祭のPRで大学生も参加してくれました。この会場にも打ち水音頭の考案者の清水氏もかけつけ、会場を盛り上げてくれました。歩道の両サイドに広かり、カウントダウンとともに、一斉に打ち水開始。歩道の両サイドから、打ち水は、圧巻です。参加者からも歓声が上がっていました。暑かったデッキに空気が変わったように涼しい風が吹きます。近くの保育園から参加した子どもたちは、再生水が無くなるまで、打ち水を楽しんでいました。

- 日時:2014年8月22日(金) 14時00分 / 打ち水開始14時20分終了
- 場所:お台場ペデストリアンデッキ(自由の女神前広場)
- 主催:みなと環境にやさしい事業者会議、ホテル日航東京、サントリー
- 後援:港区、臨海副都心まちづくり協議会
- 参加者数:合計105名

参加者の声

毎年、大学生の文化祭PRも兼ねていて、今年は近隣の保育園の子どもたちも参加し、さらにパワーアップ! 100人規模でお台場に涼をもたらしました。【サントリー 梅井氏】

SUNTORY

スポーツGOMI拾い大会

minato eco-conscious consortium report 2014

ゴミ拾いをスポーツに
区民のみなさんと企業を結びつける
新しいイベントを開催しました。

mecc
初イベント



新橋SL広場にて、mecc初の試みとなる、スポーツGOMI拾い大会を開催致しました。ゴミ拾いにスポットを当てて、スポーツとして区民と一緒に出来るイベントとなってます。当日は、肌寒い天候でしたが、最終的には、港区の中学生や家族連れ、東京メトロ新橋駅のみなさんなど13チーム59名にお集り頂きました。開会式では、各チームでかけ声を上げ、だんだんとテンションも上がります。スポーツGOMI拾いは、決められたエリアで行うため、戦略も大切です。作戦タイムでは、白熱したチームミーティングが行われていて印象的でした。「ゴミ拾いはスポーツだ！」をかけ声に競技スタート。チームごとに、新橋周辺へ散って行きます。路地裏を歩くチームや大きな通りでゴミを拾うチームなど戦略が分かれてなかには、虎ノ門までエリアを広げていました。競技途中にゴミ袋が足りなくなるチームもあり、新橋周辺のゴミの多さを表しています。黙々とゴミ拾いを行うことではなく、楽しそうにチームで話しながらイベントに参加している様子が印象的でした。ゴミ拾いを終えて戻ってくるチームは、清々しい笑顔でした。優勝は地元中学生のチーム。発表の瞬間は歓声が上がり、飛び上がり喜びを表現してました。最後は、みんなで集めたゴミの前で記念撮影を行い、終了しました。13チームで集めたゴミの量は、85kgに達し、回収に訪れた清掃職員さんもビックリ! 参加者からは、「非常に楽しかった」や「ごみ拾いの印象が変わった」、「来年も参加したい」などの感想が聞かれました。



■ 日時:2015年3月21日(土) 10時00分~11時30分
■ 場所:新橋SL広場周辺
■ 主催:みなと環境にやさしい事業者会議
■ 共催:港区
■ 協力:鹿島建設、DAIFUKU、東京ガス、森ビル、森永乳業、港区、博報堂
■ 参加者数:合計59名

参加者の声

アイデアひとつでゴミ拾いが楽しく、また、スポーツとしての競技性も面白く、時間を忘れて熱中することができました。これからも港区の企業市民として、活動に参加できればと思っています。
【DAIFUKU 河田氏】

DAIFUKU



みなと環境にやさしい事業者会議
minato eco-conscious consortium

meccに参加するには??

みなと環境にやさしい事業者会議は

企業様の環境活動、CSR活動、省エネ活動などの問題点に地域、企業、区民が同じ立場にたち
業種も立場も異なるさまざまな事業者たちが同じ目線で会える場になりたいと思っております。

環境に対する、互いの意識を高めあえる場に、

そして、アイデアが次々とカタチになっていく活気のある場を提供しております。

また、会員事業者の皆様における地球環境問題の解決に向けた積極的な取組みを支援しております。

イベントやボランティアの参加企画を紹介します。

ご関心のあるテーマにかかるイベントや、お近くで開かれる催し物に、ぜひ参加してみてください。

「みなと環境にやさしい事業者会議」のめざすところ

- 地域をコアに地球規模でひろがる環境情報の受発信基地
- CO₂削減に向けた全国に先駆ける「みなとモデル」の創出
- CSR活動に還元できるコンソーシアムとしての取り組み
- 業種を超えたユニークな協働のネットワークの社会実験

入会資格

「みなと」にかかわりがあり、地域社会と地球環境への貢献に関心ある事業者。
事業規模の大小、法人の形態(株式会社、各種機関、NPO、個人事業者等)を問いません。

年会費

5万円(1口)
◎会費等は、事業運営費等に充てられます。

主な取り組み

- ・ 総会の開催(年1回)
- ・ 企業と環境展の開催(年1回)
- ・ セミナーの開催
- ・ 分科会の開催(事業の内容に応じて)
- ・ 各イベントの実施(打ち水、クリーンアップなど)
- ・ meccツアー(視察・見学ツアー)の実施

